| | |
|---|---|
| 事例No. | 2166 |
| 公表年度 | R4 |
| 団体の属性 | 都道府県 |
| 団体名 | 京都府 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | DX |

| | |
|---|---|
| タグ | ・福祉・介護<br>・ICT<br>・（行政改革）業務の効率化 |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | 孤独・孤立対策 |

事例内容・タイトル

ひきこもり状態の方等を対象にしたオンラインでの就労支援

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

# 186 ひきこもり状態の方等を対象にしたオンラインでの就労支援【京都府】

## 事業の概要

○　京都府では、就職氷河期世代のうちひきこもりの状態等にある方を主な対象とした「京都府つながる・学ぶ・働く支援センター（略称：Lコネクト）」を民間委託により設置、運営し、支援対象者の把握や相談対応、研修実施、就労支援までをオンラインを活用して一貫支援している。

○　オンラインでの相談対応が可能であることを強調した広報等により、外出や人と対面することを要する支援は受けられなかった方からも利用いただいている。

○　相談や研修についてはWeb会議システムを活用し、顔を映さない状態や、声を出さずにチャットによるやり取りでも参加可としていることから、利用のハードルを下げることができている。

○　就労については、在宅ワーカーという働き方も含めて適性や希望に応じた無理のない働き方を提案している。




【参考情報①】 人口：253.1万人
関連URL：https://lconnect.jp/ （Lコネクトホームページ）

【参考情報②】地域就職氷河期世代支援加速化交付金（内閣府）とは
URL：https://www5.cao.go.jp/keizai1/c_hyogaki/c_hyogaki.html

## もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



これまで、「ひきこもり状態の方に対する支援」というと「ひきこもり状態を脱する」ことを目指した支援になりがちでしたが、デジタル技術を活用することで、家の中にいながらでも社会と繋がり、働くことが可能になるのではないか、と考えたことがきっかけです。

（京都府）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



主に就職氷河期世代の方を対象とした事業であることから、内閣府の地域就職氷河期世代支援加速化交付金（令和２年度から３年間）を活用しています。



利用されている方の反応はいかがですか？



「外出が難しいので、オンラインで相談や研修受講ができるのが良い」といった声や、「他の支援機関にはあまりない支援メニューに魅力を感じた」といった声をいただいています。正社員で就職された方や在宅ワークを始められた方など、新たな一歩を踏み出された方もいらっしゃいます。

★担当：京都府商工労働観光部 人材育成課★

令和3年度事業費　26,023千円
（うち、地域就職氷河期世代支援加速化交付金（内閣府）　19,517千円）